

聖隷クリストファー大学看護学部投稿規程

1. 投稿資格

本学部紀要に単著論文を投稿できるのは、原則として聖隷クリストファー大学専任教員のみとする。共著論文の場合の著者は本学外の者でもよいが、著者には本学専任教員が必ず含まれるものとする。

2. 投稿原稿の種類

紀要に投稿できる原稿の種類は、「総説」、「原著」、「報告」、「その他」とする。それぞれの内容はつぎのとおりである。

総説 (Review Article) : ある主題について研究論文、調査論文などを総括し、解説したもの

原著 (Original Article) : 独創的、理論的または実証的な研究成果を内容とし、目的、方法、結果、考察について明確にまとめられたもの

報告 (Report) : 研究、調査、教育活動、委員会活動に関わる成果で、記録にとどめる価値のあるもの

その他 (Miscellaneous) : 上記に該当しないもの

委員会の判断により、原稿の種類が著者の要望と異なるものへ変更されることがある。この場合、掲載前に委員長より著者に対して通知する。

3. 投稿の方法

投稿原稿は提出期限までに提出する。

投稿の際には、原稿2部（コピー可）と、原則としてこれを記録した電子記録媒体（フロッピーディスク、CD-ROM、MOなど）を提出する。

また、提出原稿には記入済みの投稿カードを

添付する。

4. 原稿執筆要項

- (1) 原稿は未発表のものに限る。
- (2) 原稿は横書きとする。縦書きは必要な場合に限る。
- (3) 内容を明瞭に示すように本文を区分することが望ましい。例えば原著の場合には、緒言、方法、結果、考察、結語(Introduction, Methods, Results, Discussion, Conclusion)などのように区分し、それぞれの題目のもとに記載することが望ましい。他の種類の原稿でも同様の考慮を払うことが望まれる。
- (4) 原稿の1枚目には、表題、著者名、所属を、それぞれ行を改めて順番に記入する。日本語原稿のときには英語の表題、著者名、所属を、日本語の下に上記に準じて記載する。外国語原稿のときには同様に外国語の下に日本語を記入する。
さらにその下にキーワード (key words) を5語以内で記入する。
- (5) 総説、原著、報告は、抄録を原稿の2枚目に記入する。最初に、日本語では「抄録」、英語では“Abstract”などと記入し、その次の行から抄録を記載する。抄録は、和文は400字以内、英文等は400語以内とする。この場合、本文は原稿の3枚目から記入する。
- (6) 原稿はワードプロセッサ（以下、ワープロ）で作成することを原則とする。A4判用紙を用い、原稿の1枚目と2枚目は40字×36行、3枚目以降（本文）は21字×36行の書式とする。3枚目以降（本文）は書式を2段組とすることが望ましい。用紙の上下、左右に

それぞれ 25mm 以上の余白（マージン）を置く。文章段落（パラグラフ）の 1 行目には 1 字の余白（インデント）を置く。原稿にはページ番号を付すものとする。原稿用紙として感熱紙を用いない。

英語原稿等の場合は、1 行の字数を約 2 倍とする以外は日本語原稿に準じる。

- (7) 原稿の分量は、本文、図、表、文献等を合わせて 10 頁以内を原則とする。
- (8) 本文中に、3 行以内の引用文を挿入する場合は、「」内（外国語の場合は“ ”内）に入れる。4 行以上にわたる引用を挿入する場合は、引用前後を 1 行ずつ空け、引用文は本文よりも 2 字下げて記入する。
- (9) 原稿は完全原稿とし、校正の際は誤字訂正にとどめ、新規の加筆や訂正は認められない。これに準じていない場合は、原則として次号以降の扱いとする。
- (10) 図は直ちに写真製版可能な完全原図として原稿末尾に一括して封筒に入れて提出する。各図は台紙に貼り付けず 1 枚ずつ別々にし、各図の裏面にはそれぞれ筆頭著者名、図番号、上下を指示する矢印と文字を記入する。原稿本文には、たとえば（図 1）、（Fig.1）のように記載し、挿入希望場所には本文右欄外余白に赤字で図番号を記入する。写真は図と区別せず、図に含めて図番号をつける。写真は黒白印刷を原則とする。カラー写真印刷料金は著者負担とする。

図の説明文は本文と別にし、「図説明」「Legends of figures」のように表題を書いて、次の行から、例えば、「図 1. 本症例の…」「Fig.1. The findings are …」などのように記載し、すべての図の説明をまとめて記入する。

- (11) 表は本文中には記載せず原稿用紙の 1 枚に表を 1 つずつ書いて、表番号をつけ本文末尾

に一括して添付し提出する。表説明は図説明とは別に一括して記載する。例えば、「表 1. わが国の…」、「Table 1. The trends observed in …」などのように記載する。本文中には（表 1）（Table 1）のように記入し、挿入希望場所の本文右欄外余白に赤字で表番号を記入する。

- (12) 必要に応じ、「注」を本文末尾に記載できる。

- (13) 文献には文献番号をふり、本文の終わりに頁を換えて記載する。

- (a) 著者名は省略せずに全部書く。
- (b) 本文中では文献番号を引用し、名前の後あるいは文の末尾の右肩に上付き数字で記入する。

- (c) 雑誌から引用した場合の記載の順序は、著者名（全部記入）、発行年（括弧を付ける）、論文題名（全部記入）、雑誌名（省略名）、巻数、号数（括弧を付ける）、論文の最初と最後の頁番号（ハイフンでつなぐ）とする。

例.

- 1) 堀内成子(1994): 褥婦の睡眠パターンの経時的変化に関する研究, 日本看護科学会誌, 14(5), 38-47.
- 2) Norbeck JS (1981): The development of an instrument to measure social support, *Nursing Research*, 30, 264-269.
- (d) 単行本から引用した場合の記載の順序は、著者名（全部）、発行年（括弧を付ける）、単行本題名、引用した箇所最初と最後の頁番号（ハイフンでつなぐ）、発行出版社名、発行地とする。著者と編集者が異なる場合の記載の順序は、著者名（全部）、発行年（括弧を付ける）、論文題名、編集者名、単行本名、引用した箇所の最初と最後の頁番号（ハイフンでつなぐ）、発行出版社名、発行地とする。

例.

3) 田中潔(1968): 医学論文の書き方,
pp.1-20, 医学書院, 東京.

4) 阿形清和(1989): トランスジェニック・ゼノパス, 村松喬, 岩淵雅樹編,
トランスジェニック・バイオロジー,
pp.117-126, 講談社, 東京.

5) Orem DE (1991): Nursing: Concepts of
Practice, 4th ed. pp.117-118, Mosby-
Year Book, St.Louis.

(e) インターネットを利用した場合の記載方法については、紀要委員会にご相談ください。

(14) 著者校正は初校までとする。

(15) 別刷は有料とする。別刷希望別部数は投稿カードに記載する。

5. 著作物の複製権および公衆送信権

本紀要に掲載された著作物の著者は、その著作物の複製権および公衆送信権を聖隷クリストファー大学および聖隷クリストファー大学が委託する機関が利用することを許諾する。ただし、著作者自身がこれらの権利を行使することを妨げない。

6. その他

不明な点は、紀要委員会にお問い合わせください。